

## 子どもの将来人口の推計方法について

### 1 目的

子ども・子育て支援事業計画を策定するに当たり、地域ごとの潜在ニーズ、需要見込量、供給量及び将来予測などの、客観的指標を作成するため、小学校区ごとの子どもの将来人口を推計する。

### 2 推計期間

平成 25 年を基準時点とし、平成 32 年まで各年の推計を行う。

### 3 将来人口推計

コーホート変化率法

一般的に将来人口推計には、「コーホート要因法」若しくは「コーホート変化率法」が用いられる。「コーホート」とは、同じ年（又は同じ期間）に生まれた人々の集団のことを指す。「コーホート変化率法」とは、各コーホートについて、過去における実績人口の動勢から「変化率」を求め、それに基づき将来人口を推計する方法である。

今回は、推計単位の地域が小規模で、人口移動の要因を把握が困難であり、また、推計対象が比較的近い将来人口で、更に、近年、特殊な人口変動がなく、推計対象となる近い将来にも特殊な人口変動が予想されないため、過去の人口変動の傾向を基にしたコーホート変化率法を用いることが妥当であると考えられる。

### 4 人口推計方法

#### (1) 基本人口データ

平成 21 年から平成 25 年までの岡山市統計月報（4 月号）に記載された「学区別年齢別一歳階級別人口」のデータを使用。

#### (2) コーホート変化率法による推計

##### ア 1 歳以上の年齢別人口の推計

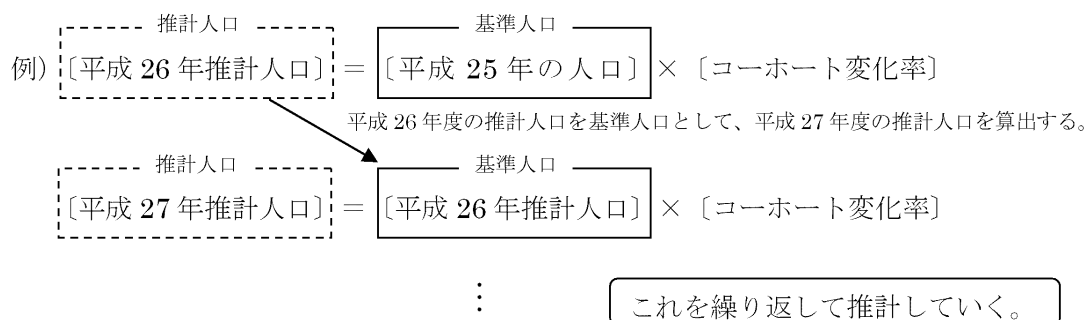
1 歳以上の年齢における各年齢別の将来人口は、その前年における 1 歳下の人口に「コーホート変化率」を乗じることによって、次のとおり推計。

##### ① コーホート変化率（年齢別）を算出

$$\text{コーホート変化率} = \frac{(\text{H22 年 } t+1 \text{ 歳} / \text{H21 年 } t \text{ 歳}) + \cdots + (\text{H25 年 } t+1 / \text{H24 年 } t \text{ 歳})}{5 \text{ 年 (H21 年} \sim \text{H25 年)}}$$

② 基準人口に「コーホート変化率」を乗じて、当該年齢の翌年の推計人口を算出

③ 前項（②）の計算を複数年分にわたって繰り返して、全体の推計人口を算出



#### イ 0 歳人口の推計

① 婦人子ども比を算出

0 歳人口の人口は、「コーホート変化率」を用いて推計することはできない。このため、母親となり得る年齢層（25～34 歳）の女性人口に対する 0 歳の子どもの人口の割合である「婦人子ども比」を用い、次のとおり推計。

$$\text{婦人子ども比} = \frac{(\text{H21 年 0 歳} / \text{H21 年 婦人}) + \cdots + (\text{H25 年 0 歳} / \text{H25 年 婦人})}{5 \text{ 年 (H21 年} \sim \text{H25 年)}}$$

② アで求めた母親となる年齢層（25～34 歳）に①の「婦人子ども比」を乗じて推計 0 歳人口を算出。